

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 事業名
 476 観光案内事業（観光案内所の設置等）

〔事業基本情報〕

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
事項		観光案内事業		
「3つのキーワード」との関連性				
いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず	○

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	3	観光の振興
施策	1	観光客受入体制の整備
取組	2	もてなしの強化

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H2	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	観光課	市川 雅章(435-1234)	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	観光客をスムーズに目的観光地へ案内したり、和歌山市の魅力ある観光スポットを紹介できるようにしたい。	JR和歌山駅（開所時間、月から土8：30から19：00日・祝8：30から17：15、常時1人）、和歌山市駅（開所時間、8：30から17：00、常時1人）和歌山城の観光案内所（開所時間、8：30から17：15、常時2人）において、案内業務（史跡や名勝等への行き方、またその近くの宿泊施設等の案内）を和歌山市観光協会に委託している。さらに車椅子等を使用している人に対しても、案内窓口を低くするなどしたり、案内所から出て対応したりしている。委託の検証は案内所からの案内件数報告による。また、ホスピタリティー向上を図るための研修会を実施している和歌山県タクシー協会に対し補助を行っている。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		○観光業界研修会の実施 ○観光案内所の運営 ○まちなか観光案内所の運営 ○外客コンシェルジュ	○観光業界研修会の実施 ○観光案内所の運営 ○まちなか観光案内所の運営 ○外客コンシェルジュ	○観光業界研修会の実施 ○観光案内所の運営 ○まちなか観光案内所の運営 ○外客コンシェルジュ	○観光業界研修会の実施 ○観光案内所の運営 ○まちなか観光案内所の運営 ○外客コンシェルジュ	○観光業界研修会の実施 ○観光案内所の運営 ○まちなか観光案内所の運営 ○外客コンシェルジュ

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	4,678	4,456	9,042	8,911	19,636	19,943	14,411	14,411	14,411	
伸び率 (%)	-	-	93.3%		117.2%		-26.6%		0.0%	
人件費	常勤職員	7,817	5,079	7,817	4,939	12,052	12,318	12,052	12,518	12,518
	非常勤職員	1,042	1,146	1,042	298	298	298	402	402	402
	小計	8,859	6,225	8,859	5,237	12,350	12,616	12,454	12,920	12,920
国庫支出金										
県支出金	1,474	1,346	2,948	2,838	13,239	13,239				
市債										
その他										
一般財源（税等）	3,204	3,110	6,094	6,073	6,397	6,704	14,411	14,411	14,411	
所要人数	常勤職員	1.02	0.66	1.02	0.66	1.6	1.63	1.6	1.69	1.69
	非常勤職員	0.72	0.79	0.72	0.64	0.14	0.14	0.19	0.19	0.19
主な予算内訳	観光案内業務委託料 1, 3 9 7 4 千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	観光案内所数	年度目標値			3	3	3	3	3
		実績値			2	2	3	3	
	単位 箇所 全体目標値 3 全体目標達成度	年度別達成度	66.7%	66.7%	100.0%	100.0%			
活動指標	まちなか案内所数	年度目標値			25	25	25	25	25
		実績値			16	16	18	17	
	単位 箇所 全体目標値 25 全体目標達成度	年度別達成度	64.0%	64.0%	72.0%	68.0%			
成果指標	年間観光客数	年度目標値			640	650	660	670	680
		実績値			589	582	549	583	
	単位 万人 全体目標値 680 全体目標達成度	年度別達成度	92.0%	89.5%	83.2%	87.0%			
成果指標	観光案内所での案内件数	年度目標値			86,000	88,000	90,000	91,000	92,000
		実績値			78,875	81,099	77,047	117,927	
	単位 件 全体目標値 92000 全体目標達成度	年度別達成度	91.7%	92.2%	85.6%	129.6%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	わか地下広場にあった、J R 和歌山駅の観光案内所を J R 和歌山駅コンコース内に移設し、観光客の利便性を図った。引き続きこの事業を行っていくことが妥当である。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	